

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	- 一般小売店〔書籍〕 （経営者） 乗用車販売店（従業員） 観光型ホテル（スタッフ） 美容室（経営者）	- ・年末に向け各出版社より話題作の発売が多く予定されており、売上の拡大が見込める。 ・新型車を出す予定は無いが来客数、販売量が増えている動きを見ると、特に根拠は無く、希望的観測ではあるがやや良くなる。 ・忘年会の予約状況が前年と比べて多少良く、期待できる。 ・客の話のなかで、ボーナスが結構出ることが聞かれる。
	変わらない	商店街（代表者） 百貨店（売場主任） 百貨店（広報担当） スーパー（経営者） スーパー（店長） スーパー（店長） コンビニ（エリア担当） コンビニ（エリア担当） コンビニ（店長） 乗用車販売店（経営者） 乗用車販売店（経営者） その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当） 高級レストラン（支配人） タクシー運転手	・今後、米代金等が入ってくるが、いつもより少ない金額となるのでその影響は大きい。米以外でも漬物用の大根、白菜の出来も良くなり、リンゴも糖度が低く粒も小さいことなどから、今後も良くない状況になり、長期的にも厳しい冬になる。 ・特商会を控えているがシビアな買い方は変わらない。今後はクリスマス、お歳暮、迎春と売上増を期待したい。 ・消費のモチベーション次第であるが、選挙戦後のクリスマスや歳末商戦がどう動くか予断を許さない状況から変わらないと判断した。ただし消費のモチベーションを喚起する仕掛けが功を奏すれば初売り、冬のバーゲン商戦へと良い流れができていく。 ・今後の景気に多少の変化があっても客の買い物スタイルの変化は考えられない。客は現在の状況が暫く続くという認識のもとに日々の買い物をしており、多少の景気の変化で買い物動向を大きく変えることはしない。これからも堅実に、必要な物にだけ金を使うスタイルが続く。 ・米の作況指数も下方修正され、果物の作柄も悪く、農家の可処分所得が減少し、農業県には大きな影響が出る。今後、農家の消費低下が懸念され、売上に大きく影響する。 ・冷夏による米の不作等が、不況に拍車をかけて買い控えがより顕著になっている。この状況は長引く。 ・昨年と比べて冬のボーナスの伸びは期待できず、小売業に対する客の目は相変わらず厳しい。値ごろ感があり、欲しいと思わせる商品をいかに揃えるなかで、同じコンビニでも「勝ち組」と「負け組」の差がどんどん広がる。 ・おにぎりやパンなどの主力カテゴリーは前年よりも上向ってきている。 ・全体的にはここ3か月間は回復傾向にあるが、それでもまだ前年比100%に至っていない。 ・100円ショップやスーパーの深夜営業がコンビニエンズストアにはかなり打撃を与えている。 ・今後の需要の中心は、新型で低価格のコンパクトカー並びに低公害、低燃費車両に移行する。その他の車種の落ち込みが激しく全体的な販売量の底上げにはつながらない。 ・今月発売された新型車の効果が長続きせず、景気の停滞を感じる。ただでさえ買換えサイクルが伸びているなかで消費を刺激するのは難しい状況であるが、一方で7年前の消費税引き上げに伴う駆け込み需要のユーザーから車検ニーズなどが確実に見込めるので総体的には現状維持が見込める。 ・米の不作と不良債権の発生による連鎖倒産が心配される。 ・11月以降の燃料の値上げが予想されている。 ・宿泊予約については前年同月比で変わらない。 ・婚礼が多少減少傾向にあるものの一般宴会は前年を上回る状況。 ・レストランについては中華系が多少苦戦しているが全体としては上向き傾向である。 ・デパート地下の店舗については集客力の問題もあり苦戦している。 ・最悪の状態変わらない。就職状況は依然として厳しく将来の年金等も不透明で不安なことはかり。また本地区においてはタクシーが1年間で約350台増車され、どこのタクシープールも満車ではみ出している。

		通信会社（経営者）	・東北は米の不作の影響も大きく、地場の大手企業の倒産や経営不安の話も聞こえてきており、地元には影響が大きく景気の改善には結びつかない。
		住宅販売会社（経営者）	・展示場来場者数はやや減少傾向にあるが一定の客数は確保できている。最近、銀行が相次いで低利の住宅ローンを販売し始めており、受注にプラスになる。
やや悪くなる		スーパー（経営者）	・更に大型店が進出してきてくるので、消費者にとっては良いことだが流通業にとっては非常に厳しい戦いになる。
		スーパー（企画担当）	・今後も県内または当市内においては、競合店の出店によりオーバーストアの状況が更に強まると想定される。その結果、客単価の低下や客数の分散、減少が始まる。
		衣料品専門店（店長）	・2か月後はボーナス時期になるが、総選挙後の混乱や企業でのリストラの加速により消費マインドが上向き状況にはない。
		住関連専門店（経営者）	・駅ビルリニューアルオープンでヤングの衣料はますます低価格指向になっているが、当店のよう路面店では低価格への対応が非常に難しい。
		高級レストラン（支配人）	・ホテル全体の予約状況は前年より下回っており、客単価アップも見込めない状況である。
		その他飲食〔そば〕（経営者）	・例年では寒い季節になるにつれて単価が上がってくるが、客の様子から単価上昇は期待できない。報道では景気が上向きになっていると言われるが、実感としては全く無い。
		都市型ホテル（経営者）	・最近の業種別格差が大きくなってきている。携帯電話会社各社、製薬会社等は頻りに会合を行っているが、土木建築会社または官公庁はほとんど飲食会合を控えている。 ・今後婚礼関係も市内に同業者や新卒の商売が次々オープン予定で今後も売上の減少が予想される。
悪くなる		スーパー（経営者）	・冷害によるマインドの低下、ボーナスの減少、県庁職員の給与削減が打ち出され非常に悪い傾向にある。
		スーパー（店長）	・米の不作で新米の価格が大幅に上昇しており消費に大きく影響する。正月のもち米も心配である。
		スーパー（店長）	・スーパーセンターとの競争により商品単価が大幅に下落して、チラシ売価も極端な安売り競争が始まっている。客がその価格に慣れてしまい、通常の安売り価格には見向きもしないでまとめ買いをする状況である。
		観光型旅館（経営者）	・地震と冷害による米の不作などで、例年申込のある忘年会や農業関係者の旅行申込がほとんど無い。特に顧客数の多い地域での連続地震の影響は大きい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・当社でも人員整理に着手し、今月末で5名が退職する。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（従業員）	・今年は年末年始、クリスマスのヒット商品が販売されているようなので、輸出入航空貨物量が大きく動く。
		公認会計士	・昨年10月に発注の止まった取引先から、来年度に契約を再開したいという申し出を受け契約締結の見込みである。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・プラズマディスプレイパネルがかなり売れているという小売店の話であるが、このような大型モニターが売れるということは関連するソフトにも必ず影響が出て、景気のけん引役になる。
変わらない		その他企業〔管理業〕（従業員）	・生産が忙しく休日出勤を増やしている。収入も増加していることから年末にかけて多少の余裕ができる。
		食料品製造業（経営者）	・年末年始の飲食店需要も、お歳暮などのギフトも、これから大きな変化を与えるような社会情勢にはなっていない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・各社在庫レスのなかで、特に丸投げ発注がほとんどである。注文書を出した後のキャンセルも、大手である程多いが、取引先全般では変化が無い。 ・一部半導体関係はにぎわっているように聞いているが、下請企業は警戒感が強くなっており懐疑的である。
	建設業（経営者）	・民間の設備投資はかなり活発になってきているが、得意先が希望する建設単価は低下しており、総体的には変わらない。	
やや悪くなる		食料品製造業（総務担当）	・1～2月は販売数量が減少する。今年は米が不作で価格が高騰していることから製造原価に大きく影響する。
		繊維工業（総務担当）	・消費低迷が続くなか、ますます発注が減り、それが生産額の前細りにつながり、資金調達が難しくなる。

		建設業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北における建設投資は減少の一途。公共投資が削減されているなか、民間投資は更に縮小しており公共投資の比率が高くなる傾向にある。</li> <li>・景気が回復傾向にあると伝えられる他の地域との格差を感じる。</li> </ul>
	悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・為替相場が現状の水準を維持または更に円高が進行した場合は、輸出の採算レートが極めて悪くなり全体に与える影響も大きくなる。</li> </ul>
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで取引のなかった中小企業などからの相談、提案依頼要請が目立ってきていることから、良い方向に向かっていく。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務請負や派遣などの事業所から20～30人の求人を提出することがあり、生産活動が上向いてきている。</li> </ul>
	変わらない	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内でも一部業種に景気の底打ち感がアナウンスされているものの、月間有効求職者数は前年比で11か月連続で減少しているが、求人数や就職件数では大きな改善が見られず、雇用面においては閉塞感が続いている。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数増加幅が縮小していること、企業整理等を受けて雇用保険受給資格決定件数が前年同月比で増加していることが気にかかる。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年同月比で見ると新規求職数は減少し、新規求人数は増加傾向にあるものの、先月においては新規求職者数が増加に転じ、企業の規模、業種、地域間のばらつきもあり雇用情勢は依然として油断を許さない状況にある。</li> </ul>	
	やや悪くなる		
	悪くなる	アウトソーシング企業（社員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末年始を迎える時期で市町村では新年度予算が決まる時期である。その中で需要が減ることは分かっているので他県への営業競争が激しくなる。よって2～3か月後は景気は悪くなっている。</li> </ul>